

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 萌葱の郷 ライフサポートセンターなごみ園 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2026年1月5日		2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年1月5日		2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	必要な職員配置を整え、ゆとりをもって支援にあたることのできる体制は、当事業所の強みの一つであると考えております。	職員数に一定の評価をいただけたことは、こども一人ひとりに丁寧に関わる姿勢や、安全面への配慮が伝わった結果であると受け止めております。職員配置に余裕があることで、急な対応や個別の配慮が必要な場面にも柔軟に対応しやすい環境づくりにつながっていると感じております。	今後もこの体制を大切にしながら、より質の高い支援につなげてまいります。
2	保護者への説明について、丁寧に行えているとの評価をいただいたことも、当事業所の強みの一つであると感じております。	支援の目的や内容、こどもの様子や今後の見通しについて、できる限り分かりやすい言葉でお伝えすることを日頃より心掛けてまいりました。	今後も一方的な説明にならないよう、保護者の思いやご不安にも丁寧に耳を傾けながら、より分かりやすく誠実な説明に努めてまいります。
3	子どもたちが「やってみたい」「楽しい」と感じられるように、一人ひとりの思いや興味を大切にしながら、活動内容や進め方を工夫しています。 無理に取り組ませるのではなく、子どもたちが主体的に関われるよう心がけており、その積み重ねが安心感や意欲につながっていると感じております。	活動に取り組む際には、まず一人でゆっくり考える時間を大切にし、その後みんなで意見を出し合いながら折り合いをつけていく「話し合いの時間」を設けています。 自分の思いを持つ時間と、友だちの考えに触れる時間の両方を大切にすることで、子どもたちが安心して参加できる環境づくりを心がけています。	最近は、活動内容が偏ってしまったり、新しい活動案が出にくくなったりする場面も見られます。そのため、職員から季節ごとの行事や避難訓練など、その時期に応じた活動を提案しながら取り組んでいます。 今後は、ただ提案するだけでなく、「みんなで考える時間」そのものが楽しい時間となるよう工夫し、子どもたちの発想や意欲が自然に広がっていくような関わりを大切にしていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流を「実施すること自体」を目的とするのではなく、子どもやご家族のニーズを踏まえて判断している点が特徴といえます。	・放課後等デイサービスを利用する子どもの中には、慣れた環境や特定のメンバーと過ごすことで安心して過ごせる場合が多く、新しい環境や他の子どもとの活動に対しては負担を感じることがあります。 ・また、保護者の中には、子どもの発達支援や日々の安全な預かりを大切に考えており、地域交流については特にニーズを感じておられない場合もあります。	こどもたちにとって無理のない形での交流の在り方を模索し、負担にならない関わりの機会を検討してまいります。交流そのものを目的とするのではなく、こどもたちの安心や意欲を大切にしながら、自然な形でつながりを広げていけるよう工夫してまいります。
2	現在、保護者支援およびきょうだい支援については限定的な実施にとどまっており、今後の充実が課題と考えております	父母の会活動や保護者会、きょうだい向けの交流の機会については、昨年度「頑張り賞(イベント)」の中で交流の場を設けましたが、参加が難しかったご家庭もありました。また、マニュアル説明やガイドライン改正の報告に時間を要し、保護者同士がゆっくり関われる時間を十分に確保できなかったことも課題として挙げられます。 一方で、すべての保護者が交流の機会を望んでいるわけではないという現状もあります。そのため、交流を一律に推進するのではなく、希望されるご家庭には機会を提供しつつ、希望されないご家庭の思いも尊重する姿勢が大切であると考えております。	・参加しやすい日程や方法の工夫(複数回開催や任意参加の明確化など) ・説明の場と交流の場を分けるなど目的に応じた構成の見直し ・交流を希望する方が無理なく参加できる仕組みづくりを検討し、多様なニーズに配慮した家族支援の在り方を整えてまいります。
3	現状、相談や申入れに対応する体制は設けておりますが、その周知や説明については十分とはいえない面もあり、今後より分かりやすい発信や丁寧な説明に努めていく必要があると考えております。	調整に想定より時間を要する場合があります。その結果としてご説明が遅れてしまうことがあったのではないかと思います。 また、相談内容を窓口担当者が中心となって対応していたため、情報共有や役割分担が十分でない場面もあったのではないかと思います。	今後は、役割分担の明確化や情報共有体制の見直しを行い、より円滑で安心していただける相談対応ができるよう努めてまいります。